

総務文教委員会

主な審査内容

●大竹市附属機関設置に関する条例の制定について



行政改革の取り組みの一環として、市が任意に設置している附属機関を1つにまとめて条例化しようとするもの。附属機関の位置づけをより明確にし、委員の委嘱や会議等の運営事務の標準化を図るのが目的。

Q 議員や市の職員が入った組織が多くある。外部からの意見を積極的に取り入れることが目的であれば、有識者や地域の代表などを積極的に取り入れて意見を行政に反映させるのが正しいと思うが、どのように考えているか伺う。

A 市民の代表である議員の意見は、外部からの意見と考えることもできる。市内部の委員は、市の考え方を説明するために必要となることもあると思われる。このこ

とは、これからの附属機関のあり方全体に対する課題だと考えている。

Q 開かれた附属機関とするためには、審議内容についての情報公開が大事だと思うがどのような考えなのか伺う。

A 行政文書は公開することが原則である。情報公開条例にのっとって適切に運用していきたい。

●平成25年度大竹市
一般会計補正予算(1号)



歳入歳出にそれぞれ1億4,822万5千円を増額するもの。歳出は

- ・本庁スロープ設置工事 330万円 (地域の元気臨時交付金)
- ・木野まちづくり特別補助金 1,750万円
- ・斎場設備改修設計業務委託料 320万円 (地域の元気臨時交付金)
- ・消防団の小型動力ポンプ積載車4台用の備品購入費等 約2,713万円 など。

Q 消防団車両の耐用年数について、また、古い車両の点検整備は行っているのか伺う。

A 耐用年数については、現在は20年を目安で整備計画を作成しているが、現状は計画通りに更新できていない。なお、古い車両は、分団からの要望により修理等をしている。

Q 斎場の制御盤及び通風設備の改修は、冷却設備の設置により火葬の時間が短縮されるということなのか伺う。

A 今回の改修の目的は、老朽化への対応である。冷却設備といった根本的な改修になると、斎場の全体的な見直しという形になってくる。

●財産の取得について
(消防ポンプ自動車)



(株)三葉ポンプSF大竹が、4千74万円で落札した。

Q 消火能力について、水と泡ではどの様に違うのか伺う。

A 業者には、建物火災において泡消火は水と比べて8倍の威力が

あると説明を受けた。

Q 予算額の96%の価格で落札されている。入札業者は1社だが、この場合、競争しなくても大丈夫だと判断されかねないのではないかを問う。

A 建設工事は予定価格を事前公表しているが、物品は非公開である。今回は指名競争入札でなく一般競争入札としたが、最終的に入札したのは1社だった。市としては、予定価格を非公開とすることで、落札金額が下がることを期待しているところである。

※採決の結果、3議案とも

原案のとおり可決

本会議へ

●大竹市附属機関設置に関する条例の制定について

【反対討論】

○「附属機関を標準化して、事務処理も運営も事務局主導にすると市民の意見が反映されず市長の承認機関になるだけで意味がないので反対。」

本会議での採決の結果

原案のとおり可決

第4回定例会は、平成25年9月5日～9月24日の20日間行われました。
 詳細については、平成25年12月上旬に本会議録が製本されますので、市のホームページ、
 市情報公開コーナー、図書館等でご覧ください。

生活環境委員会

主な審査内容

●平成24年度大竹市水道事業
 会計決算の認定について

●平成24年度大竹市工業用水
 道事業会計決算の認定につ
 いて

●平成24年度大竹市公共下水
 道事業会計決算の認定につ
 いて

Q 上水管の更新について伺う。

A 老朽管の更新は年間約6千万
 円を予定している。永久的に行う
 必要があるが主に事故率の高い塩
 ビ管を優先している。

Q 数年後には料金改定が必要
 といわれているがいつ頃どの程
 度を考えているのか伺う。

A 平成26年度以後については赤
 字となると予想している。消費税
 等の引き上げも考慮し慎重に検討
 したい。

●工事請負契約の締結につい
 て（晴海臨海公園整備工事）

解説

晴海臨海公園全体の面積12
 76ヘクタールのうち、スポーツゾー
 ン4ヘクタールを整備するもの。

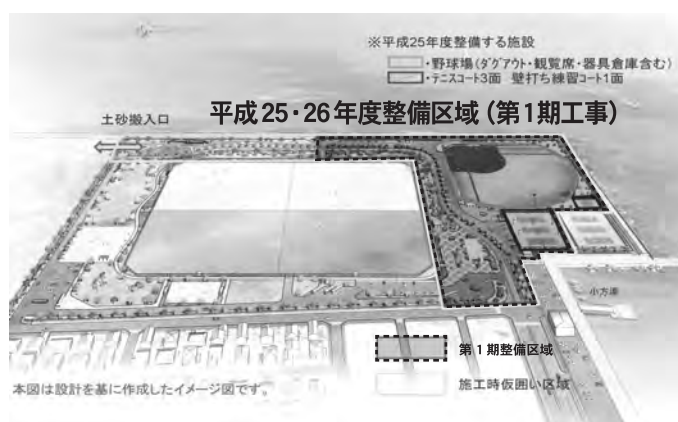
今年度は、野球場、テニスコ
 ー3面などの整備工事を計画し
 ている。入札方法は、公募型指
 名競争入札。落札者は、㈱三洋
 技建が約4億7,880万円で
 落札した。工期は、議決日の翌
 日から平成26年3月14日まで。

Q 野球場は観覧席を充実させ
 イベントや招致野球ができる施
 設とするべきと考えるが伺う。

A 広島市民球場と同じく両翼を
 100メートル確保したため外野のス
 ペースがなくなった。産廃の処分
 の埋め立てで構造物には荷重の制
 限がある。今後利用状況を見なが
 ら検討したい。

Q 総事業費18億円、第1期工
 事が8億5千万円であるが、平
 成26年度の予定、また第2期工
 事の考えを伺う。

A 今年度は、野球場、テニスコ
 ー3面などを計画している。平成
 26年度に管理棟、トイレ、植栽、
 園路、ナイター設備などを予定。
 2力年で8億5千万円を見えてい
 る。第2期工事については出来る
 だけ早く行いたい工期について
 は未定である。



その他の議案4件

※採決の結果、8議案とも

原案のとおり可決

本会議へ

●工事請負契約の締結につい
 て（晴海臨海公園整備工事）

【反対討論】

○「今後老朽化対策など多額の
 出費が予定されており、工事を実
 行すれば新たに債務が発生する。
 今必要なことは市民の安心安全対
 策なのでは。」

○「練習用の球場としては広
 すぎる。使用する団体に合わせた規
 模の球場を作ってほしい。この補
 助金は、他の事業にも使えるので
 反対。」

【賛成討論】

○「整備事業は、青少年の健全
 育成のための大きな力となると思
 われる。また、集客力があり、に
 ぎわいのある大竹の場所づくりと
 なるので賛成。」

○「本市のにぎわい、活性化、
 人口減の緩和のためには、ある程
 度の事業費はやむをえない。総合
 計画に沿ったまちづくりのため協
 力したい。」

本会議での採決の結果

原案のとおり可決